



特集

インダストリアル・グローバルユニオン第3回世界大会

国際労働運動の重要性と インダストリオールの 役割

「公正な未来のために団結しよう」

第3回インダストリアル・グローバルユニオン世界大会は、新型コロナウイルス感染症のため、当初予定されていた2020年10月の南アフリカでの開催が1年延期され、2021年9月14-15日の二日間にわたって、初の完全Webで開催された。

金属労協からは顧問、議長、副議長、事務局長を初め35名の代議員、20名のオブザーバーが参加、世界全体では、111カ国、434組合、オブザーバーを含めて2,897名が参加した。

インダストリアル・グローバルユニオンは2012年の結成から9年が経過し、課題となっていた3つの組織の垣根が取り払われ、今大会で選出された新しいリーダーシップのもと、大会で採択されたアクション・プランの柱である、「労働者の権利の促進」「組合の力の構築」「グローバル資本への対抗」「持続可能な産業政策」に一丸となって取り組んでいく。

